



横浜市立 瀬谷さくら小学校

学校運営協議会だより

平成24年 3月19日
平成23年度・第3号

共に学び、共に創る地域の学校『瀬谷さくら小学校』
～みんなの力で守り育てよう
瀬谷さくら小学校、さくらの子～

2年間の活動を振り返って

学校運営協議会 会長 網代 宗四郎

地域の皆様や保護者・教職員の皆様に、学校運営協議会の活動に温かいご理解、ご協力いただきまして誠にありがとうございます。また、ご指導、ご支援くださいました関係機関の皆様に心から感謝申し上げます。

平成22・23年度の活動のまとめと致しまして本誌を発行させていただきました。一昨年5月25日に開催された第1回運営協議会におきまして、委嘱状をいただき、さらに、協議会の役割についてお話を伺い、任務の重大さに身の引き締まる思いをしたことを昨日の事のように思い出されます。

副会長の馬場勝己委員や野口周作委員をはじめ各委員の皆様が、更に各部会活動に所属されている方々がそれぞれの役割に情熱を注がれ、しっかり果たしてくださいました。加えて古川前校長先生、八嶋校長先生の適切なご助言、ご協力をいただき2年



間活動を行うことが出来たと感謝しております。

協議会本来の活動であります「学校運営方針」の承認や、「学校評価」等の活動に加えて、具体的な学校支援活動を検討し行う活動部会を併設してまいりました。初年度の大きな課題でありました、校歌・校章の策定につきましては、校歌・校章部会に担当していただきました。多くの皆様のご努力によりまして、児童の皆さんや保護者、先生、地域の皆様のお気持ちを充分くみ取っていただいたものとなっております。

校歌「大きな翼」は第1回卒業式以来今日まで児童の皆さんが、元気に、楽しく歌っています。「校歌」・「校章」を作成していただきました皆様に心から感謝申し上げます。

昨年3月11日に発生した「東日本大震災」により、元気に、そして、大きな夢を持って勉強しておられた児童の皆様が大勢亡くなられました。とても悲しくてなりません。亡くなられた皆様の御冥福を心よりお祈り申し上げます。

今年度、児童の皆さんをあらゆる災害から、しかも、何時いかなる状況に於いても守れるよう「児童を災害から守る検討部会」を発足して、学校、家庭、地域の役割と連携のあり方や、災害に強く安全なまちを作るための検討と活動を行ってまいりました。



2年間の活動に加えまして全国研修会や横浜教育実践フォーラムへの参加、先進的実践をされておられます京都市立の高倉小学校・御所南小学校の視察等のなかで沢山の事を学ばせていただきました。今後の活動に活かしてまいりたいと考えております。

自分大すき 友だち大すき このまち大すき さくらの子 の健やかな成長と瀬谷さくら小学校が確かな歴史を築きながらご発展されます事をご祈念申し上げあいさつとさせていただきます。

(学校運営協議会 平成23年度活動報告書より転載)



学校運営協議会委員

子どもたちの健やかな成長を願って

学校運営協議会 副会長 馬場勝己



下瀬谷小学校、日向山小学校の再編統合委員会に、ひなた山地区の代表として参加していたことから、平成22年4月1日の開校と同時に設立された瀬谷さくら小学校学校運営協議会の委員の一員に加わらせていただきました。

新しい学校の誕生とともに、新しい校風をつくりたいと『ともに創る地域の学校』を合言葉に取り組んでまいりました。

学校の象徴である“校歌・校章”も制定できましたし、子どもたちの登下校の安全を見守る“学援隊”、学校と地域の祭りなどの“地域交流”が進みました。さらに、子どもたちの学習を支援する、地域の教育力を活用した“学習支援”等の各部会活動が活発に行われました。

まだ、2年足らずの活動ですが、これからも地道な活動を継続して、子どもたちの健やかな成長を見守り、支援したいと思っています。

各活動部会報告

学援隊部会



校門前横断歩道の誘導

活動内容

- ・登校時の通学路の見守り：毎日
- ・下校時の通学路の見守り：月、火、金
- ・登校時の青パトでの学区内巡回：月、水、金
- ・下校時の青パトでの学区内巡回：月、水、木
- ・校舎内、校庭、学校周辺の巡回
- ・隊員と教職員の懇談会：年2回
- ・さくら小地域夏まつりで学校周辺の警備
- ・教育支援部会への協力
- ・アルミ缶回収

活動効果

通学路の見守りと青パトの巡回は、児童への犯罪防止の効果は絶大です。学校周辺地域の安全、防犯効果も大きいものとなっており、この地域での犯罪発生件数は他

地域に比して少なくなっています。

地域間の交流も大きな成果と考えます、隣近所、単一自治会に留まらず校区内の人的交流があり、人の輪が出来ていきます。それにより更に安全安心の町となって行きます。

登下校時の子どもへの「おはよう、行ってらっしゃい、お帰りなさい、さようなら」の挨拶、「ポケットから手を出してね、道草食わずに早く帰んなよ、車に気を付けなよ」などの声かけは挨拶の躰だけでなく、子どもが地域をそして人間を信頼するきっかけになっています。

今後の課題

朝の通学路の見守りは全曜日実施されていますが、下校時と青パトの巡回は、隊員数の不足から実施されない曜日があります。今後この空白の曜日を埋めてゆくことが課題となります。

より密度の高い見守りを継続するのが目標となりますが、隊員の高齢化は着実に進み、隊員の減少が起こります。チラシ（回覧版）や口コミでの補充が必要です。

青パトの運用には40万円程の費用が必要となります。現在は個人の善意、アルミ缶の売却料金などで補っていますが、安定的な資金確保が必要となります。（野口 元）



出発を待つ青パト

教育支援部会

支援協力メンバー 総数約260名以上

○学援隊（120名）年間を通しての見守りと児童との交流 ○図書ボランティア（15名） ○モチモチ文庫（6名）読み聞かせ…週1回 ○ウクレレ友遊会（12名） ○カナリア会（25名） ○箏の会（10名） ○踊りの会（4名）盆踊りの指導 ○算数補充学習（29名） ○クラブ活動支援（34名） ○畑の先生 ○その他…家庭科実習、まち探検など

活動内容

○学援隊：新1年生との交流…学援隊の活動紹介、昔遊びの指導／1



1年生と昔遊び

ウクレレ演奏の指導

年生への歌・紙芝居・なぞなぞの披露など、延べ3日間／登下校時に毎日児童と簡単な挨拶、会話などによる交流 ○図書ボランティア、モチモチ文庫：図書室の飾り付け、読み聞かせ、月3、4回 ○音楽授業：ウクレレ友遊会が児童との協演、実演指導、ウクレレを1、2年生に1時間ずつ、カナリア会がコーラスを3、4年生に1時間ずつ、箏の会が箏を6年生2クラスに1時間ずつ実施 ○盆踊りの指導：1年生に3日間実技指導 ○算数補充学習：23年度11月、12月、2月に、4、5、6年生各1クラスずつ30分間、極力1対1の対応で指導 ○クラブ活動支援：4年、5年、6年生が一緒になり授業の一環として45分間、12/9、1/27、2/17の3日間実施、種目は、マラソン、屋外スポーツ、屋内スポーツ、サイエンス、手芸、パソコン、ミュージック、マジック、鉄棒一輪車、の9クラブ ○畑の先生：栽培活動の指導と支援 ○その他：家庭科実習、まち探検などでの協力・支援

今後の課題と提案



算数補充学習の反省会

○算数補充学習：①九九の出来ない子への対処をどうするか（パソコンの利用、九九の表を持たせる、九九の唄の利用、朝会での発表、などの提案があった） ②実施回数を増やす、時間の延長の提案あり ③個々について教えると一生懸命やり、効果が上がる ④ウツカリミスが多い、ゆっくりやれば出来る ⑤始めと終わりの挨拶は躰としてきちんとやるべき ⑥学年毎の難易度に差が大きい、4年が難しく6年がやさしすぎる（2月）

○クラブ活動支援：①先生の指導方針がわからず支援員が戸惑う所がある。始まったばかりで難しいが一度担当の先生と個々に話合

を持つべきである。年間計画も欲しい ②パソコンの一太郎ソフトに戸惑いがある ③6年生のリーダーシップに委ねているが、先生の強い指導も必要である ④手芸では統一したものを作るとか、基本技術を教えることも必要である。

◎算数補充、クラブ活動とも初めての経験で戸惑いがあったが、先生にも刺激になる事もあったと考えられる。来年も実施するとして回数を重ねれば改善されると思われます。

◎すぐには出来ないが、先生が不在でも実施出来る体制が望ましい。土曜塾など。

◎学援隊、読み聞かせ、音楽授業、盆踊りなどの支援は個々に進められ、教育支援部会が介入せずに成果を上げており、必要に応じて支援部会が応援をしていきたい。（野口 元）



3年生にPRするパソコンクラブ

地域連携部会

下瀬谷鍋を食べよう会

2月には、下瀬谷鍋を食べよう会が催され、厳しい寒さの中、あたたかい鍋に、みんなで舌鼓を打ちました。この会は、地域で採れた野菜を子どもたちに食べてもらいたいと、地域の先輩たちが始めたもので 現在はコミスク

とPTAが引き継いで行っています。

鍋が煮えるまで相沢川岸を散歩し、相沢川を守る会の菊池さんの話を聞きました。川岸に植えられた河津ざくらは2種類あって、今、満開になっているのは早咲きの種類であることを知りました。河津ざくらを植樹して10年になるという話を聞いて、「私と一緒に！」という子も。



かまどで鍋を煮る



菊池さんの話を聞く



あたたかい鍋に舌鼓

はまっ子部会

瀬谷さくら小学校はまっ子ふれあいスクールには、現在150人の児童が登録しています。（在籍児童における登録率は35.6%）

毎日、授業の終了する午後2時30分頃には、3階の突き当たりに位置する「はまっ子ふれあいスクール」の専用

ルームに子どもたちが元気良く集まってきます。

はまっ子ふれあいスクールは、通い慣れた学校施設を利用して、異年齢の多くの子どもたちが遊びを通じて交流することによって、創造性、自主性、社会性を養い、児童の健全育成を目指し、安全で安心な遊び場として活動しています。

学校運営協議会のはまっ子部会としての特色を活かし、はまっ子ふれあいスクールで実施する各種体験的活動では、協議会内のネットワークを活用し、地域の力をいただいています。

今年は、低学年の参加が特に多く、毎日、元気いっぱい様々な遊びを行っています。特色ある活動として、今年度も、夏休みカレンダー作りをはじめ、すいか割り大会やサッカー教室、秋には落花生・お芋掘りなど、多くの子どもたちが体験活動を行いました。新年度には、日々の工作やトウモロコシの収穫など子どもたちと楽しい活動ができるように企画をしていきたいと考えています。（青木俊太郎）



カレンダー作り

児童を災害から守る検討部会

1月22日、瀬谷さくら小学校地域防災拠点の冬季防災訓練が行われました。今年、第1部：研修、第2部：起震車による地震体験、第3部：拠点備蓄庫の資機材の確認と整理、清掃、の3部構成で行われました。

第1部：研修では、災害発生時に備えて瀬谷区で準備していることと、個人で準備すべきことが明示され、個人で準備すべきこととして、家屋の耐震補強、家具の転倒防止、最低3日分の水・食料の備蓄など6項目が示されました。また、瀬谷区で起こりうる災害として、地震、地震に伴う大火災、境川や相沢川の氾濫による水害などがあげられ、その際の避難方法として、地震の場合はテーブルの下へ、揺れが収まったら余震や本震に備えて一時避難場所へ、水害の場合は近くの高台へ、大火災の場合は下瀬谷坂上の広域避難場所へ、と災害の状況に応じた対応が求められています。

その他、高齢者・障害者に対する災害発生時の避難支援と、避難場所（地域防災拠点）生活における対応と注意点、高齢者・障害者や幼児と対話するためのコミュニケーションボードについて説明を受けました。

私たちも、災害発生時に自分たちで判断し行動できる子どもたちを育てることを目標の一つとしています。とはいえ、子どもたちの登下校時に災害が発生した場合には、地域の皆様が子どもたちの安全を守って下さいますよう切にお願い申し上げます。

秋季防災訓練でのバケツリレー



広報・学校評価部会

広報活動

年3回の学校運営協議会だよりの発行のほか、活動報告書の編集や全国協議会で使用したプレゼンテーション用資料などを作成しました。学校運営協議会だよりでは、保護者や地域の人たちに、コミュニティスクールについて理解を深めてもらう記事を中心に、学校行事などでの子どもたちの様子を紹介してきました。

横浜市教育実践フォーラム

1月28日、横浜市教育文化センターで行われた「横浜市教育実践フォーラム」で、瀬谷さくら小学校学校運営協議会の活動を紹介しました。

今回は、学校運営協議会の生い立ちから現在までの活動について説明した後、学校評価について詳しく説明を行いました。教職員による評価、学校運営協議会による評価のほかに、学援隊や学習支援ボランティアから寄せられる意見やアドバイスが、学校にとってとても有意義であることを説明しました。また、「学校評価担当になって戸惑ったこと」などをお話し、最後に、学校運営協議会各部会の代表8名の紹介と各部会のセールスポイントを発表し、発表を締めくくりました。

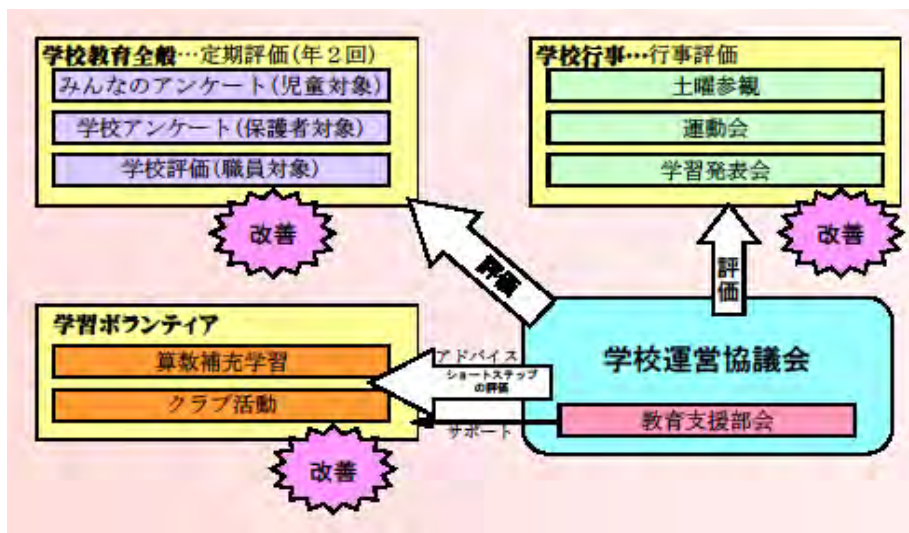
100名ほど収容の会場で立ち見が出るほどの盛況でしたが、参加者からは、①地域の委員選出の仕方 ②地域の方の学習支援への係り方 ③学習ボランティアの募集の仕方 ④活動資金について、などの質問がなされました。①に関しては、学区の各自治会長を中心に、学識経験者、PTA役員、学援隊役員などを加えて構成したこと、②に関しては、3ページに書いたことをかいつまんで、③に関しては、今のところ、学援隊員を中心に、人づてで募集していることを説明しました。④に関しては、教育委員会から、わずかではあるが補助金が出ていることと、現在、ファンドを検討していることが説明されました。



学校評価

瀬谷さくら小学校の学校評価の特徴は、学校運営協議会が「学校関係者評価」を行う点にあります。日頃から学校運営に深く関わり、学校や児童の様子をよく把握している学校運営協議会の方々が、第三者の視点から学校運営や、改善の取り組みの状況の評価し、提言をします。また、サポートしていただいている算数補充学習やクラブ活動については、毎回アドバイスをいただくという形で、ショートステップの評価を実施し、速やかな改善につなげています。（諏訪 浩）

今年度の学校評価は、9月と1月に、2回実施しました。6～13ページに評価結果をご紹介します。



横浜市教育委員会が広報誌で瀬谷さくら小学校学校運営協議会を紹介

「下瀬谷小、日向山小の再編統合で開校」、「組織づくりについて」、「平成23年度の新たな教育課題に向けた取組」、「学習支援の充実」、「内容の充実している瀬谷さくら小学校 学校運営協議会だより」、「学校関係者評価委員会としての働き」の見出しで、2ページにわたって写真入りで紹介した後、「教育実践フォーラムに参加していただいて」として、「会場からも、地域の方々がこんなにも熱心に学校を支えてくださっているということに対する感心の声があがりました。フォーラムの趣旨である、一般市民の参加を積極的に促し、広く横浜市の施策を周知するというねらいが達成できたのではないかと思います。瀬谷さくら小学校の皆様ありがとうございました。」と締めくくっています。

学校運営協議会の活動を高く評価して頂いたことに関係者一同感激し、感謝しております。

平成 24 年 3 月 19 日

平成 23 年度 横浜市立 瀬谷さくら小学校 学校評価報告書

| 共通取組 | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|----------------|--|---|--|-------------------------------------|
| 児童生徒育成 人間形成 | <p>○読む・聞く・話す・書く・計算力を高める指導を充実させます。</p> <p>○読書力向上を図る取組の充実を図ります。(図書館ボランティアの活用)</p> <p>○道徳教育の充実を図ります。</p> <p>○規範意識や挨拶を大切にする指導の充実を図ります。(年間生活目標の重点化「あいさつ、返事、言葉遣い」)</p> <p>○人権尊重の精神を基盤とする教育を推進します。</p> <p>○体力向上に関心をもたせる指導をします。瀬谷区体育協会「いきいきキッズモデル事業」</p> <p>○自己有用感を高める指導をします。</p> <p>○ICTを活用し、指導の充実を図ります。</p> | <p>○全ての教職員によって、子どもにより添った温かい指導が行われるとともに、地域の声かけや協力等の手厚い支援のもとで、子どもたちは落ち着いた学校生活を過ごすことができ、やさしい子どもたちが育っている。</p> <p>○各教科・領域で、読む・聞く・話す・書く・計算力を高める取り組みを行った。</p> <p>○保護者の読書ボランティア組織と協力し、読み聞かせや紙芝居など、充実した活動が出来た。</p> <p>○校内重点研究等の研究授業を通じた研究・研修により教員の指導力向上授業改善が図れた。</p> <p>○引き続き、スタンダードをもとに規範意識と挨拶の大切さを指導する必要がある。</p> | <p>・規範意識をさらに高め、あいさつの習慣が向上するよう、家庭との連携を図る。</p> <p>・児童がスタンダードを守ることができているか、教職員が指導できているか、児童・教職員が定期的にふりかえりを行う。</p> <p>・あいさつ運動の推進や規範意識を高めるために、学校だより等で保護者・地域の方に学校の取り組みを伝えていく。</p> <p>・これからも、子どもの心により添った温かな指導を行う。</p> | <p>A</p> <p>ⓑ</p> <p>C</p> <p>D</p> |
| | <p>【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先月の授業参観で「いのちの授業」を見ました。命そのもの、親の愛情を確認する素晴らしい授業でした。 ・挨拶ができる子どもに育ってほしいです。 ・人間形成に関して、小学校での教育はとても重要だと思います。人を思いやる心、道徳教育をこれからも充実させてほしいと思います。 ・毎日の挨拶、返事、ゴミを捨てない、ゴミを拾う、片づけをするなど日常的に人間として当たり前の事。このしつけを根気よくやられ、1年前には校舎階段に落ちていたゴミも減り、挨拶も増え改善著しい。 ・人間形成にとって、小学校生活は重要な時期と考えます。そのような事から今後も先生・保護者・地域の皆さんが気持ちを一つにして連携を図りながら取り組むことが大切と考えます。 ・朝練の指導は良くやってもらっています、感謝。挨拶は多くの子どもがしっかりやっています、これからも根気強くやりましょう。 | | | |
| 学力形成 | <p>取組目標</p> <p>○瀬谷さくら小学校計算検定、漢字検定を実施します。(校内計算・漢字検定試験に力をいれ、子どもが自分の)</p> | <p>自己評価結果</p> <p>○検定試験の取り組みでは、児童の学習意</p> | <p>改善策</p> <p>・引き続き、瀬谷さくら</p> | <p>評定</p> <p>A</p> |

| | | | | |
|---|---|--|---|----------------------|
| 成 | <p>ペースで意欲的に取り組み、基礎的な力が身に付けられるようにします。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自分の考えを持ち、筋道立てて友だちに説明できるようにします。 ○各学年、具体的なプランを策定し実践します。特に漢字・計算については家庭との連携を図り重点的に指導します。 ○生活・学習の基礎として、基礎的な言語事項を一人ひとりに身に付けさせます。 | <p>欲が高まり、取り組みが定着してきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国語や他教科・領域で、言語活動の向上が図られた。 ○算数の補充学習(補習)により、基礎・基本の定着を図った。 | <p>小学校計算検定、漢字検定を行い、学力向上に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科を中心に読解力向上を図る。 | <p>Ⓑ C D</p> |
|---|---|--|---|----------------------|

【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】

- ・検定の実施や先生方のご努力により学習意欲が高まったことは何より素晴らしいと思います。
- ・計算検定や漢字検定は、子どもたちの意識を高めるのに有効と思うが、算数の補習授業など、1対1に近い指導が出来そうなので、個人メニューを考えたほうがよい。そうすれば、できない子の底上げができると思う。
- ・計算と漢字の検定は児童の目標と励みになっていて良い取り組みと思います。
- ・検定について、自分のペースで取り組める事もよいと思いますが、学年ごとにある程度の目標や目安を提示した方が前に進みやすいと思います。
- ・算数補充学習ボランティアから見ると、基礎の勉強を必要とする子どもに対して、もっと補充学習の時間を取れたらよいのと感じました。
- ・学力に関しては、もっと家庭と連携して向上を図る必要があると思います。
- ・諸取組、ご努力によって勉強がわかる、授業が楽しいと思える児童が多くなったことは、素晴らしいと思いますと共に、一層の努力が必要と考えます。

| | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|------|---|---|--|----------------------------|
| 小中一貫 | <ul style="list-style-type: none"> ○小中学校の相互授業参観、教育課程検討会、児童生徒指導連絡会、児童生徒交流日を活用して、異校種理解を深めます。 ○教育課程・児童生徒指導や不登校予防・解消について、協働できる体制づくりに取り組みます。 | <ul style="list-style-type: none"> ○教職員・児童生徒、それぞれの立場で、話し合いや小中合同授業研究会を実施した。 ○本年度から、中学校ブロックで小中児童・生徒指導連絡協議会を立ち上げ、毎月情報交換を行い小中の連携を図った。 | <ul style="list-style-type: none"> ・児童・生徒指導連絡協議会を活用し、小中学校の連携を密にし、児童・生徒指導のより一層の充実を図る。 ・合同授業研究会を通し、小中学校の職員が、教育課程や児童生徒指導の連携を図る。 | <p>Ⓐ B C D</p> |

【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】

- ・児童・生徒連絡協議会の立ち上げは、小中学校全体で保護者・地域を含め皆で成長を見守る上でとても良い事だと思う。小中の先生が気軽に色々な現状を話し合い、各校で改善案を出し合うことは大切である。
- ・この小中一貫の取組はとても良いことだと思います。より充実していくことを期待しています。
- ・小中合同授業研究会や小中児童・生徒指導連絡協議会を定期的で開催されている事は大変素晴らしいと思います。今後も続けられ、大きな成果を上げてください。

| | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|---------|---|---|--|-------------------------------------|
| 校内人材育成 | <p>○若手教職員の育成のため、校内OJTを充実させます。</p> <p>○「チームさくら」を組織し、自分たちの手で研究研修に力を入れます。</p> <p>○管理職自らが職員の勤務・指導状況を的確に把握し、助言・支援を行います。</p> | <p>○メンタチームの研究授業を通し、研究研修の充実が図られた。</p> <p>○チームさくらによるOJTでは、不祥事防止の研修会等の準備や運営を行った。</p> <p>○指導主事を要請し、「学級開き、学級づくりのコツ」について研修し、学級経営力の向上を図った。</p> <p>○管理職による「授業づくり講座」を行い、授業力向上を図った。</p> | <p>・学年研で、教科指導や児童指導の研修を行い、教師力向上の取り組みを行う。</p> <p>・「教科等の研修」を年2回実施する。職員のニーズをもとに、研修を実施する。また、市研・区研の情報を伝達・紹介する。</p> | <p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p> |
| | <p>【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】</p> <p>・小学校の教師の仕事はものすごく多岐にわたり、忙し過ぎるので、くれぐれも身体(心)に注意してほしい。(もっと教員の人数が増えたら良いと思うのですが)</p> <p>・研修会を種々開催され教師力向上に取り組まれた事は高く評価します。今後も続けてください。特に、学級運営や保護者への対応の在り方も研修してください。</p> | | | |
| 重点取組 | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
| 児童・生徒指導 | <p>○挨拶運動を実施し、元気で、気持ちの良い挨拶のできる児童に育てます。</p> <p>○児童一人ひとりを大切にし、児童・保護者の思いに耳を傾けます。</p> <p>○不登校や問題行動の芽を見逃さないよう、普段から職員間の共通理解を図り、児童の様子を細かく見ていきます。</p> <p>○外部機関との連携を図り、継続的にコンサルテーションを活用して子どもの情報交換と職員研修を充実させます。</p> <p>○異学年交流により、思いやりの心を育てます。</p> <p>○定期的に学校評価を実施し、児童・保護者・地域の声を吸い上げます。</p> | <p>○コンサルテーションを実施し、児童理解に努めた。</p> <p>○児童・保護者に定期的に学校評価を行い、児童理解・教科指導につなげた。</p> <p>○児童指導と連携し学校保健委員会や人権教育でも相手への思いやりを育む「あいさつ、言葉づかい、行動(思いやり)」に取り組まれた。</p> <p>○毎月各学年で児童指導について話し合い、それをもとに全職員で児童指導について、指導項目の重点化を図った。</p> | <p>・あいさつを含む温かい言葉づかいや行動ができるように、重点目標を決め取り組む。</p> <p>・支援が必要な児童について、全職員で情報を共有していく。</p> | <p>A</p> <p>Ⓑ</p> <p>C</p> <p>D</p> |
| | <p>【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】</p> <p>・異学年交流で、上の子が下の子に注意できるような場面を設定ができれば、有効な指導になると思う。</p> <p>・積極的に挨拶をする児童の姿が見られました。挨拶運動は高学年になるほど難しいですが、低学年の時に習慣となっていれば問題ないと思います。粘り強く継続していただきたいです。</p> <p>・児童に対しての挨拶などの指導によって、意識も変わってきていると思います。不登校、問題行動に関して、これからも引き続き重点的に行ってほしいと思います。</p> | | | |

- ・クラブ活動は異学年交流で大変良い、集団登校も年長者が年少の面倒を見て、これを定着させては。
- ・児童指導に全職員が一丸となって取り組まれておられる事はとても良いと思います。今後さらに、支援を必要と思われる児童と問題行動の心配がある児童への対応をしっかりとっていただきたいと思っています。
- ・学力向上は宜しくお願い致します。朝練、クラブ活動は子供の育成に効果が大きいです今後も継続してお願いします。子どもの躰は親の責任です、親の教育も必要ですかね。

| | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|----------|---|--|--|------------------|
| 研究 研修 | ○校内重点研究等の研究授業を通じた言語活動の充実に向けた研究・研修、公開授業（区一斉授業研究会、理科・総合的な学習の時間）の設定により、教員の指導力向上、授業の改善を図ります。 ○指導主事など外部講師を招き、研修を充実させます。 | ○重点研究として国語科をとり上げ、言語活動を中心に年間1人2回の授業研究を行い、教師の授業力向上を図ることができた。 ○区一斉授業研究会では、理科、総合について、新たな視点での授業を提案できた。 ○横浜国大の教職課程の学生に、2クラスの授業を公開し授業づくりについて共に研究することができた。 ○小中合同授業研究会を実施し、授業改善を図った。 | ・授業力向上を目指した研究・研修をさらに充実させる。 ・校内重点研究を通して、各教科・領域で児童の読解力の向上を図る。 | ① B C D |
| | <p>【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童へ教える時のポイントなどを研修会の形で保護者へ講演してはどうでしょうか。（興味を引く教え方、あきさせない方法、目標を保持する方法など）。 ・横浜国大の学生との共同研修、研究は良い事だと思う。子どもが新聞等で社会問題などをテーマにグループ討議し発表するなどいかが。 ・先生の授業力向上の取組に加え、若い方々への育成活動は素晴らしいと思います。 | | | |

【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】

- ・児童へ教える時のポイントなどを研修会の形で保護者へ講演してはどうでしょうか。（興味を引く教え方、あきさせない方法、目標を保持する方法など）。
- ・横浜国大の学生との共同研修、研究は良い事だと思う。子どもが新聞等で社会問題などをテーマにグループ討議し発表するなどいかが。
- ・先生の授業力向上の取組に加え、若い方々への育成活動は素晴らしいと思います。

| | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|----------|--|--|--|------------------|
| 地域 連携 | ○学校運営協議会を通して、地域と連携し、教育環境の充実と地域参画型の学校運営を目指します。 ○学習支援ボランティア等の充実を図ります。 ○地域人材や地域教材の開発につとめ、地域の教材化を進めます。 ○多くの地域人材を生かし、児童の学習や安全環境を整えます。 ○学校便り、ホームページを通して、細やかな情報発信に努めます。 | ○地域の人材を生かし、学習や安全環境を整えることができた。 ○学校運営協議会のご協力、新たに算数補充学習（補習）やクラブ活動に教育ボランティアを導入することができた。 | ・学校運営協議会の組織を活用して、学習等への協力者を募り、学校側のコーディネーターと、地域側のコーディネーターの連携をさらに図っていく。 ・学校運営協議会の教育支援部会を中心に、市の地域コーディネーター養成講座への参加をお願いし、学校への幅広い支援体制作りを図る。 ・保護者・地域の方に、学校説明会や学校だより、懇談会等で、学校運営協議会の活動を伝えていく。 ・算数補充学習等の教育支援活動の充実を図っていく。 | ① B C D |
| | <p>【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域側が、もう少し勉強したり、支援者同士、あるいは先生方とディスカッションしたりするなど | | | |

【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】

- ・地域側が、もう少し勉強したり、支援者同士、あるいは先生方とディスカッションしたりするなど

して、レベルアップする必要がある。地域の人材を活用するのはいいが、先生と子どもたちの密接な関係を構築することが大切。振り返りなどから、先生方の忙しさが気になる。先生が子どもたちに集中できるように、事務的な仕事や雑用を、コンピューターや地域の人に振ることも考えていいのでは。

- ・学習ボランティアを継続拡大し、より活用するために、検討を重ねて改良して進めていただいたことに感謝します。
- ・今年は委員として足を運ぶことが少なかったのですが、活気ある元気な瀬谷さくら小だと思いました。
- ・子どもたちの学力向上のお手伝い、できる限りがんばります。
- ・地域は学校からの要望には十分にこたえる気持ちがあります。何か要望があれば地域へどんどん発信してください。
- ・挨拶、返事等も本来家庭での習慣、躰が大事で、人任せになっている気がする。
- ・学校と学校運営協議会の連携により、学習や安全環境の向上が図られた事は素晴らしい事と思います。今後一層努力して、児童の皆さんの学校の支援をさせていただきたいと考えております。
- ・算数補修、クラブ活動支援は今年度の経験を活かして更なる充実を求めたい。

10の取組分野における評価結果

| 取組分野 | 取組目標 | 自己評価結果 | 改善策 | 評定 |
|---------------|---|--|--|-------------------------------------|
| 1 教育 課程 | <p>○授業力向上を目指した授業研究や研修の充実。児童の基礎学力充実を図ります。</p> <p>○指導事項、指導内容の確実な習得を旨とし、言語活動の充実を図ります。</p> <p>○読解力・文章表現力の育成のため、指導と評価の一体化を図ります。</p> <p>○市学習状況調査の結果を分析し、市の結果との比較から学習課題を把握して、基礎学力定着のための具体的なプランを策定し取組を進めます。</p> | <p>国語科を中心に「言語活動の充実」に取り組み、問題解決を柱とした指導計画の作成を工夫した。</p> <p>指導事項、指導内容の確実な習得を各教科でさらに図る必要がある。</p> <p>基礎学力定着を目指し、重点を絞った取り組みを図る必要がある。</p> | <p>・授業力向上を目指した研究授業や研修を充実し、児童の基礎学力充実を図り、読解力の育成をする。</p> <p>・各教科において「言語活動の充実」をさらに図る。</p> <p>・算数の補充学習(補習)を定期的実施する。</p> | <p>Ⓐ</p> <p>B</p> <p>C</p> <p>D</p> |
| 2 進路 指導 | <p>○地域の様々な立場の人とのふれあいを通し、生き方について関心をもたせます。</p> <p>○学援隊や学習ボランティアなど、学校を支援して下さる方々や、社会見学等で働く人の生き方にふれる</p> | <p>地域の方や外部講師を積極的に教育活動に活用し、様々な職業や生き方に触れることが出来た。また、地域の方との交流を通し、児童が地域社会の一員であることを感じる</p> | <p>・キャリア教育全体計画をもとに、総合科や教科、領域の学習に積極的に地域の人材を活用する。</p> | <p>A</p> <p>Ⓑ</p> <p>C</p> <p>D</p> |

| | 機会を充実します。 | 機会がもてた。 | | |
|--------------|--|---|--|------------------|
| 3 児童・生徒指導 | ※重点取組分野で設定のため記載なし | | | A Ⓑ C D |
| 4 保健管理 | <p>○食教育・いのちの教育等の指導の充実を図ります。</p> <p>○「いきいきキッズ体力向上計画」を引き続き実践します。</p> <p>○朝の特別陸上クラブなどを通して、自分の健康について関心をもてるようにします。</p> | <p>食教育・いのちの教育等を含め、指導の充実が図れた。</p> <p>体育協会・保護者と協力し、児童の外遊びの幅を広げることができた。</p> <p>特別陸上クラブ・特別合唱クラブの活動を通し、心身の健康を充実させることができた。</p> <p>・栄養士と連携し給食指導、食教育指導の充実が図られた。</p> <p>・児童の保健管理についての組織だった取り組みが評価され、市の健康優良校として表彰された。</p> | <p>・いのちの学習のファイルの使用や授業公開を通して、家庭と連携して学習を進める。</p> <p>・体育協会・保護者と協力し、児童の外遊びを見守る活動を継続する。</p> <p>・栄養士と連携し給食指導、食教育指導を行う。</p> | Ⓐ B C D |
| 5 安全管理 | <p>○不審者等による事件から児童を守るため、登下校時の校門立会や下校時の校門への誘導を徹底します。</p> <p>○学援隊との連携を図り、児童の安全指導を充実させます。</p> <p>○防災計画を見直し、児童自らが自分の命を守る防災教育の充実と職員の危機管理対応への取り組みを行います。</p> | <p>学援隊の方々のご協力で、登下校時の安全指導が充実した。</p> <p>9都県市総合防災訓練を本校で会場として行い、全児童・全職員が参加し、防災意識を高めることができた。</p> <p>学校運営協議会に「児童を災害から守る部会」を設置し、地域とともに児童の安全を検討することができた。</p> | <p>・安全教育計画に基づいて、各教科・領域の中で指導をしていく。</p> <p>・大規模災害に備え、地域の防災拠点、学校運営協議会と連携し、地域の特色を生かして児童の安全を図っていく。</p> | Ⓐ B C D |
| 6 特別 | ○西部療育センターとの連携を図り、コンサルテーション等を継続的にを行い、児童の実態把握、情報交換・ | 支援の必要な児童についてコンサルテーションの実施等を通して、児童理解を図るこ | ・西部療育センターとのコンサルテーションを継続する。 | A Ⓑ |

| | | | | |
|--------------------|---|---|---|----------------------------|
| <p>支援</p> | <p>研修に力を入れます。 ○個々の児童の様子を観察し、職員間の情報の共有化を図り、全職員での指導の充実を図ります。</p> | <p>とができた。職員が共通理解をした上で児童指導にあたることができた。 学校カウンセラーの協力のもと、配慮の必要な児童について、家庭との協力が進んだ。</p> | <p>・特別支援の手立てについての研修会を実施する。 ・特別支援が必要な児童について、全職員で情報を共有し、指導にあたる。</p> | <p>C D</p> |
| <p>7 組織運営</p> | <p>○整理・再編した組織で職員の活発・円滑な学校運営を目指します。 ○チーム力を生かした組織運営を目指します。 ○学校創造委員会など横断的な組織の機能を有効に活用し、適時、課題解決と新たなプランニングが迅速に行われるようにします。 ○各組織が情報を共有化し、組織的に円滑な取組が行われるようにします。</p> | <p>多くの学校行事・諸会議等が一つの組織で運営できることで、円滑・活発な取り組みとなった。 学校創造委員会の活用により、緊急事案においては、情報の共有を図り、適切に組織として対応することができた。 学校運営協議会の部会と職員組織が協力し、教育支援活動を立ち上げることができた。</p> | <p>・部会と事務分掌・教科領域部会・特別委員会等の組織系統の整合性をさらに図り、部会の再編を行う。 ・組織に則った縦系統の情報伝達(報連相)と横方向の情報伝達(共有)を、より活発に行う。</p> | <p>A B C D</p> |
| <p>8 研究研修</p> | <p>※重点取組分野で設定のため記載なし</p> | | | <p>A B C D</p> |
| <p>9 地域連携</p> | <p>※重点取組分野で設定のため記載なし</p> | | | <p>A B C D</p> |
| <p>10 教育環境</p> | <p>○校内の安全点検、環境整備に努めます。 ○全職員で、朝の登校見守り、夕方の施錠及び施設の安全確認にあたります。 ○改修整備された空間等の有効活用を図ります。 ○地域人材を教育活動に活用する人的環境整備につとめます。</p> | <p>2・3・4階に多目的室を設置し、改修整備された空間の有効活用を図った。 学校運営協議会の教育支援部会が中心となり、地域人材を学習支援に活用する体制が整ってきた。(算数補充、クラブ活動等)</p> | <p>・児童の学習活動や学校生活の改善に役立つように、教室配置やスペースの有効活用をさらに図る。 ・学校での取り組みや、他学年の学習活動の様子を知ったり、興味や関心をもったりできるように、掲示物</p> | <p>A B C D</p> |

| | | | |
|-----------|--|--|---|
| | | | を計画的に配置していく。 ・年間を通した教育ボランティアの活用計画を立案し、調整を図る。 |
| 11 その他 | | | |

【学校関係者評価委員会からの意見の抜粋】

- ・進路指導：小学生の進路指導は難しいと思うが、とにかくいろんな体験を通して、何か一つでも興味を持たせることを目的としていると思う。
- ・教職員の皆様には非常に努力されているにもかかわらず、それがなかなか目にする機会が少ないために、注文や時には非難的となってしまうことがあるように思います。先生方のご苦勞が伝わるような機会があったら良いと思います。難しいでしょうが。
- ・学校と地域は常に話し合っていくことが大切で、それが子どものためにもなるのではないかと思います。
- ・学校環境、住環境等が多少違う二校が統合され約2年がたちますが、先生方は色々な取り組みに挑戦され成果を上げてこられました。地域の支援も大きく寄与していると思いますが、敬意を表したいと思います。
- ・10の取組分野各々に、大変しっかりとした取組をしていただいたと感謝いたします。
- ・朝練は非常に良い、多くの児童の参加が望ましい。計算力、応用問題の重点化も欲しい。1年生と地域の方の交流は2、3年生にも広げたい、盆踊りも継続が望ましい。教育支援は1対1の対応の方が、効果がある。多くの支援者が必要。

ともに創る地域の学校

校長 八嶋 真理子



1月28日（土）に横浜市教育センターで行われた教育実践フォーラムで瀬谷さくら小学校の学校運営協議会の取組と学校評価について発表いたしました。活動部会の中心となる地域の皆様と一緒に発表に参加して下さったので、地域ぐるみで子どもたちを育てている様子をお伝えすることができました。定員100名の会場は立ち見が出るほどの盛況で、教育長様、教育委員長様にもご参観いただきました。特に、本校の学校運営協議会は、保護者の皆さん

や教職員からの学校評価アンケートの結果を受けて、具体的に地域の力で子どもたちのためにできることを検討し具体化していることが大きな特徴で、その点が今回の発表で参加者から高い評価をいただきました。本年度は、「児童を災害から守る検討部会」の立ち上げや、算数の補充学習やクラブ活動に教育ボランティアとしてたくさんの方々に参加していただくなど、地域の力が学校教育の可能性を今まで以上に広げました。これは、これからの日本の教育への一つの提案とも言えるものではないかと思えます。



学習発表会でエールを送る



満開になった河津桜

瀬谷さくら小学校は、開校からわずか2年ではありますが、下瀬谷小学校と日向山小学校の伝統と地域のよさを生かし、家庭だけではできない子育てや学校だけではできない教育を新たに地域の力で創造しようとしています。そこに多くの方々から夢を託し、力を貸して下さっています。このような環境の中で育つ子どもたちは幸せです。おかげさまで、心優しく元気で明るいさくらっ子が育っています。私たち教職員一同は、保護者や地域の皆様のご支援のもと、今後もさらに力を合わせて子どもたちのために豊かな教育活動を創ってまいります。

【編集後記】

開校から2年が経ち、ややマンネリ化していた学校運営協議会だより、横浜市教育委員会の評価には勇気をもらいました。学校運営協議会の性格上、何も新しい奇抜なことを書けばよいという訳ではありませんが、一般の地域の人たちに、少しでも学校運営協議会のことを知っていただくために、これからも記事や紙面の構成を工夫してまいりたいと思っています。（西村）



下瀬谷鍋を食べよう会に参加した子どもたち

学校運営協議会の開催実績

- | | | |
|--------------|---------------|-------------------|
| 第1回 5月12日（木） | 第3回 11月 8日（火） | 第5回 3月 1日（木） |
| 第2回 7月 7日（木） | 第4回 1月23日（月） | 第1回全体研修会 9月17日（土） |